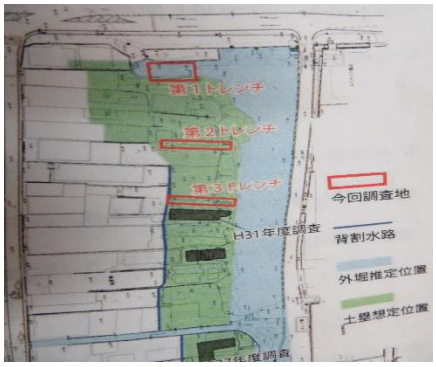
■大和郡山市観光ボランティアニュース 2020.11.15

郡山城外堀および土塁（高付上池地区）の発掘調査現地説明会　令和２年 11 月 15 日

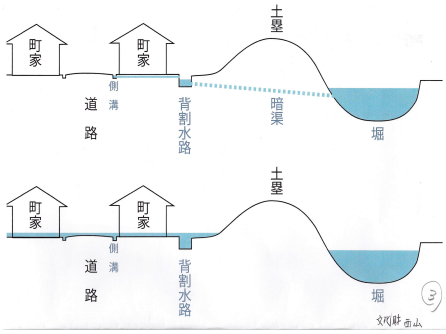
◎大和郡山市では平成 27 年度から今年度に至るまで、城廻り線街路事業等に伴う発掘調査を５回実施しています。６回目の今回の調査地は、小字「高付上池」と呼ばれる地区。説明会では、堀に伴う土塁と土塁内部を横断する、江戸後期から幕末にかけての暗渠施設が確認されたこと。同施設は、町家側から外堀へ雨水などを排水する施設で、複数の短い陶器製土管をつないで長い管として使用。敷設後 160～200 年経た現在も使われており、多岐にわたる部分で当時の技術力の高さが垣間見え、土塁の規模と併せ当時の城下町や城づくりの実相を知る上で貴重な調査となった。

☜現地で説明をする山川氏

高付上池跡で現地説明会

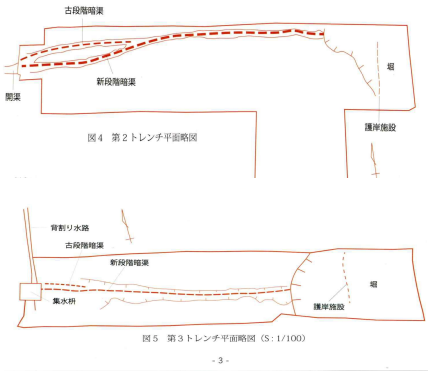


今回の発掘調査地（赤枠）



町家から土塁をへて堀へ排水

第２トレンチの新旧階段暗渠



第２（上）３（下）トレンチ断面図

第３トレンチの新旧階段暗渠

これからは石碑だけが残る堀跡に

かつての美しい高付上池の外堀

●説明会

大和郡山市（説明・資料）

山川均氏・西山真由美氏

応援：加藤、楠本（宜）、竹中

●広報

構成：金澤

写真：丸山、浅井、島田

文責：浅井